

JACO NEWS

株式会社 日本環境認証機構

Japan Audit and Certification Organization
for Environment and Quality

2016 April

No.30

Close-up
NEWS&REPORT

ISO 14001/9001 2015年版改訂への対応

NEWS &
REPORT

- 1—認証取得進むアセットマネジメントシステム
- 2—**連載企画** 2015年版規格解説シリーズ①
2015年版におけるリーダーシップの役割について



日本ウエストン株式会社



ISO 14001/2015年度版 更新によせて

おもてなしお客様担当 最高責任者
代表取締役社長 臼井 麻紗社 様

日本ウエストン株式会社

<http://www.weston.co.jp/>

はじめに

弊社は、2000年12月に業界では、初となるISO 14001の認証取得をしました。また、ISO 14001/2015年度版更新においても、今回審査でご縁を頂く事になった日本環境認証機構様で日本で一番となる更新審査で認証取得させて頂きました。会社経営において、ISOは必要不可欠なツールであると確信しています。野球は、バット・ボール・グローブの道具がなければ、プレーできません。会社経営もISOという道具がなければ経営できないものだと思います。その上で今回の2015年度版への規格改正はマネジメントにおいて経営層のコミットメントが強化されたことで、世の中の会社経営の品質を高めるよい機会になると思っています。

会社紹介

工場の清掃関係で利用されるタオル・ウエスをレンタル販売している会社です。大切にしていることが、掃除・挨拶・学びです。会社価値として、「誰にでも出来る事を、誰にもできないくらい継続する」という考え方があります。製造業のバックヤードを担う業種だけに安心・安全が会社品質といっても過言ではありません。製造工程のある会社では、油が付着したり、インキや溶剤が付着したりしますので、利用して頂いているお客様においても取引前は、著しい環境側面に抽出されていた廃棄物が、取引と共に廃棄物が資源に変わり循環型商品としてリユース

されるので、お客様でのゼロエミッションのお役に立てている事業でもあります。いろいろな製造業のバックヤードとして循環型社会で貢献させて頂いています。

人財開発=ISO教育

良い人財育成なくして、会社の成長はありません。会社の商品は、社員力といってもよい時代となって来ました。よい人財になる為には、しっかりとした理念と行動指針を自分自身の言葉に置き換えて行動できる人へ成長してもらわなければなりません。そのステージを作り、より成長できる機会を提供することが経営層の使命だと思っています。そして、最高のパフォーマンスを出す実施責任が社員さんです。そして、お客様から信頼と満足を頂かなければ、会社の存続はありません。弊社の事業とすればISOの目的目標が、社員個人の目標管理に落とし込まれて毎日毎週毎月と進捗管理され、よりよくなる改善がなされていくことで、個人の成長=会社の成長=お客様の満足へつながって行きます。ISOでの出来栄をしっかりと計画・行動・チェック・見直しのプロセス管理が自ら出来る社員さんを育てて行くことを愚直に実施しています。

2015年度版更新での 今後の取り組み

ISO 14001について、2004年度版への更新以降、自社だけでなく取引しているお客様も環境と経営が遊離している状況だったと思います。しか



し、2015年度版への規格改正では、大きく経営として変化していくことと確信しています。因果という言葉がありますが、プロセスが良くなければ、良い結果が出ません。良い結果が出ないという事は、プロセスが何らおかしいという事です。ISOが正しくよい考え方で機能していれば、必ず良いパフォーマンスが生まれると思います。2015年度版は、経営層がコミットメントしなければならないという点が一番大きい改正です。良い会社良い組織になる為には必ず良い仕組みがなければなりません。経営品質向上もISOも考え方仕組み化としては、全く同じだと思います。その内容により社風・社格といった目に見えない価値創出ともいえると思います。良樹細根 しっかりとした根を張らないと大樹となりません。ISOは、まさに会社経営そのものだと思います。上辺だけの環境ISOでなく、環境経営として実践していく会社が増えていきしっかりと大地に根を張ることで、日本経済もしっかりと成長し大樹になるという思いを込めています。その一翼を担い事業活動を全社員一丸となって邁進させて頂き、お客様にも影響を与える会社になれるように取り組んでいきたいと思っています。